

平成十四年二月十五日提出
質問 第二一〇号

平成十四年二月十二日の衆議院予算委員会におけるNGO問題に関する質問主意書

提出者 岡田克也

平成十四年二月十二日の衆議院予算委員会におけるNGO問題に関する質問主意書

去る平成十四年二月十二日の衆議院予算委員会における基本的質疑のなかで、NGO問題に関する私の質問に対する政府の答弁には、曖昧なものが多々見受けられた。しかし、今後の国政に重大な影響を及ぼす論点であり、かかる問題については政府の姿勢をより明確に質す必要があると考える。

従って、次の事項について質問する。

一 ピースウィンズ・ジャパンの大西代表と鈴木代議士との間で、大西代表が発表したようなやり取りはなかったと、外務大臣は責任を持って断言できるか。

二 総理は「大西、鈴木両氏間の議論はいつでもいい」と答弁したが、大西代表側の発表したやり取りが事実であれば、政治家によるNGO活動に対する不当な介入に当たると考えるが、どうか。「どうでもいい」との答弁を撤回するつもりはないか。

右質問する。